

## 実際の授業のワンシーン～子どもが主体性を発揮し、自ら探究を進める～

小学校第6学年「地域の役に立ち隊員ジャー」では、地域の伝統的な文化・産業・観光・歴史的建造物・福祉等に係る人に、再度インタビューをする活動を通して、守っていききたい思いや、願い、生き方に触れ、地域のために貢献したり、未来に引き継ぐことについて考えたりことを目的に取り組みました。そのことで、つなごうとする人たちがいなければ、地域の伝統的な文化・産業・観光・歴史的建造物・福祉等、未来に残せないことを実感し、自分が地域と関わる大切な一員であることを自覚することで、地域に対する愛着をもつことを目指しました。

単元は、小単元①・②・③から構成し、子どもが、自らの「問い」を明確にしながら学習をしていけるようにしました。

### (1) 小単元①「地域の役に立ち隊員ジャー①」活動内容を決定する

#### ○アンケートをもとにした課題の設定

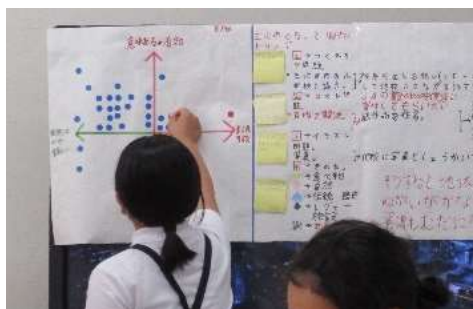
まず、地域の方々に「自分たちの活動が役に立っていたのか。」「三次町の未来がどうあってほしいか。」というアンケート調査を実施しました。すると、コミュニティスクール(以下CS)や地域の方から大きく5点の返事がありました。

- ・地域のことをよくしてくれようと一生懸命考えてくれたことがうれしかった。
- ・三次町の自然・環境・文化・伝統・食を守ってほしい。
- ・人口減少にストップがかかればいいな。
- ・学区の合併で、小学校がなくなってしまった地域も大切にしてほしい。
- ・6年生が作成したパンフレットは、学ぶことが多かった。

#### ○活動内容を絞る

活動内容を決定する段階では、各グループでチャレンジしてみたい内容を決め、学級内でプレゼンを行いました。プレゼンでは、「コストや製作したものを置く場所は？」など、学級内で率直な意見が飛び交います。1度目のプレゼンで出された意見を改善して、2度目のプレゼンをしました。こうして、活動内容がブラッシュアップされていきました。お互いのグループをマトリックスで視覚化していくことで、グループでの重なり気づき、2つのグループが合同で進めることを提案し、コスト削減を計画するグループもありました。

#### 【各グループの発表内容を測るマトリックス】



アイデアはいいけれど、実現は難しいかな？

観光トランプを作るのはいいと思うよ！



ぼくは、三次の自然や、文化、特産物、観光地がのっているトランプを作ったらいいと思う！遊びながら三次を思い出し、再び三次を訪れたいと思ってほしい。

#### 【「トランプ」を作るグループの協議の様子】



地域の方の願いはかなうけれどコストやトランプにのせる情報収集がはっきりしていない。

## (2) 小単元②「地域の役に立ち隊員ジャー②」実現に向けた取組

小単元①で、多くの意見をもらったグループの中には、食品販売に係る資格取得、安全面の配慮から、他のグループから「実現不可能ではないか」と言われたグループがありました。「どうしても実現させたい！」その思いで、子どもたちが自主的に集まって計画を立て続けた姿もありました。

その取組みの中で、「実現が難しいのは？」と言われた「トランプ」を製作したチームを紹介します。

### ●トランプチームの挑戦

トランプチームの考えるトランプとは、三次市内さまざまなレジャー、観光、食、自然を取り上げたトランプです。今回のトランプでは、児童自身が「三次小学校区」だけではなく、「三次市」と広く地域を捉えることで観光客、リピーターが増えるのではないかと考えました。範囲が広がるため、子どもは役割を分担して情報を集めました。

また、多くの依頼場所があるため、情報収集と撮影許可、トランプへの使用許可を同時に依頼することで、子どもたちなりに時間の使い方を工夫しました。製作の目的を説明し、依頼をした場所には、全て許可をいただくことができました。

CSのみなさんにもご協力いただき、トランプに取り上げる場所を紹介していただきました。また、地域の方のおかげで、1セット500円前後で販売をさせていただくことになりました。

### 【トランプの絵柄・裏面の例～湯本豪一記念 日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)】



館長さん、このようにトランプを作成しようと思っています。写真を使わせていただけませんか？



### 【児童の感想より】

トランプは、一万円で20個しか作られないけれど、お願いに回った場所で「買うよ。」と言ってくれたのでうれしかった。「みんなの一万円をぼくたちにください。」とお願いすると、ぼく達の頑張りに、学級みんなが拍手！うれしかった。1月末に印刷会社に出す予定だ！今回一番大変だったことは、集めた情報の使用許可をお願いすることだった。たくさんの人と話して、たくさん食べて、観て、三次ってすごいなともう一度感動した。(児童K)

## (3) 小単元③「ひとり立ちし隊員ジャー」検証～「三次町の役に立つことができたのか？」

小単元③では、「三次町の役に立つことができたのか」というアンケートを再度行い、自分たちの取り組みを検証します。また、子どもたちは、地域のお祭りや盆踊り、老人ホーム等で、自分たちが地域のためにできることを探して実行することにもチャレンジしています。